

事業計画書とは

事業計画書

事業計画書は、開業準備全体の予算組みをし、それをもとに開業後5年間の経営面の数字予測を見るものです。計画的な診療所経営をするためには、事業計画の策定が必須です。

〇〇クリニック

事業計画書は、

- ①開業準備全体の予算を組み、
- ②①をもとに開業後の経営数字を予測し、
- ③「開業の当否を判断する材料」にすると共に、
- ④開業資金の調達先(金融機関等)への提出資料にします
- ⑤中期長期の経営計画の資料にします

10年以上医院開業に携わり現在50施設以上の医療機関の顧問先を持つ会計事務所が、長年の経験を元に開業準備に関する適正な数字を設定し、開業後の医院財政面を予測しま

概算総事業費

(単位：千円)

1 建設費関係			
① 内装費	(36 坪 × 694 千円)	建築費、内装費の予算組みをします。数社から見積を取り、適正な数字を考えます。	24,984
② 設計管理費			2,250
③ その他			
2 不動産関係			
① 土地取得費			
② 借地			
③ 敷金・保証金	(36 坪 × 千円)		5,000
④ 不動産取得税			
土地			
建物			
⑤ 登録免許税		対象物件の不動産関係費用(保証金(取得費、税金等)を挙げていきます。	500
⑥ 不動産手数料			
⑦ (根) 抵当設定費用			
⑧ その他			
3 器械・備品関係			
① 医療機器購入	(リース 12,000 千円)	医療機器、什器備品の予算を立て、リースにするか買取にするか考えます。	2,982
② 什器・備品購入	(リース 0 千円)		
③ その他			
4 開院前諸費用			
① 開院費		各種諸費用をきれなく挙げ、概算の予算組みをします。その際、多めに予算組みをすることが、安心できます。	105
② 広告宣伝費			1,050
③ 火災保険料			100
④ コンサルタント料			840
⑤ 看板制作費			1,050
⑥ その他雑費	(電話加入料、医師会入会金 等)		1,500
5 開業後運転資金			
① 年度別損益計算書不足資金より		運転資金、予備費はできるだけ多めに予算組みします。運転資金はできれば6ヶ月分のランニングコストを用意することがベストです	8,550
6 予備費			6,089
合 計			55,000

II. 資金調達

自己資金	10,000 千円
借入金	45,000 千円
合計	55,000 千円

自己資金は、総事業費の3分の1は必要です。借入金はバランスを考えて。

借入先	金額	据置	償還	利率	返済方法	実行日
国民生活金融公庫	15,000		14	1.90	1,090	
銀行	10,000		10	2.50	2,050	
世田谷区	20,000		9	1.40	元利均等	
合計	45,000					

注) 利率は推定です。

資金調達は、借り入れの諸条件を慎重に検討実行してください。お勧めは、国民金融公庫です。

III. リース明細

物件名	件価額(千円)	リース期間(年)	リース料率(%)	リース料/年(千円)
医療機器	12,000	5年	1.9%	2,736
				2,736

リース会社により料率が違うので、リース会社を慎重に選びます。

IV. 減価償却費

項目	帳簿価格(千円)	耐用年数(年)	償却率
建物 償却対象額			
建物 設備			
医療機器			
什器備品	2,982	6	0.166
内部造作	24,984	15	0.066

減価償却は、決算処理に意味を持ってくるので、開業については、余り重要な意味を持ちません。

項目	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度
建物価格	0	0	0	0	0
医療機器価格	0	0	0	0	0
什器取得価格	2,982	2,982	2,982	2,982	2,982
造作取得価格	24,984	24,984	24,984	24,984	24,984
小計	27,966	27,966	27,966	27,966	27,966
建物償却費	0	0	0	0	0
医療機器償却費	0	0	0	0	0
什器備品償却費	446	446	446	446	446
内部造作償却費	1,484	1,484	1,484	1,484	1,484
小計	1,930	1,930	1,930	1,930	1,930
償却費合計	1,930	1,930	1,930	1,930	1,930
残存価額	26,036	24,107	22,177	20,248	18,318
償却累計額	1,930	3,859	5,789	7,718	9,648

V. 医療従事者構成及び人件費明細

職 種		1年度		2年度		3年度		4年度		人数
		人数	月額給与	人数	月額給与	人数	月額給与	人数	月額給与	
看護婦	正看護婦	0	0	0	0	1	250	1	255	1
	準看護婦	0	0	0	0		0		0	
	パート	1	230	1	235	1	239	1	244	1
事務	事務員	0	0	1	170		173		177	
	パート	2	160	1	163		166		170	
A 小 計		3	550	3	625	4	829	4	846	4
B A+間接人件費 A×1.1			605		625		912		930	
C 年額(常勤) B×(12+3ヶ月)			0		2,805		6,986		7,126	
D 年額(パート) B×(12+1ヶ月)										
月数			12		12		12		12	
人件費			7,865		8,490		12,788		13,044	

- ※ ベースアップ率2%を見込む
- ※ ボーナスは年間3ヶ月分支給するものとする
- ※ 諸手当、福利厚生費はBのなかでAの10%とする
- ※ パートのボーナスは年間1ヵ月分支給するものとする

人件費は、その内容をよく検討し、少し多めに計上します。開院時は、コストを抑えるため、パートの有効利用がいいでしょう。

VI. 予想患者数

	開院～3ヶ月	4～6ヶ月	7～12ヶ月	13～24ヶ月	25～36ヶ月	37～48ヶ月	
患者数／日	15	20	35	45	50	60	
診療日数	66	66	130	260	260	260	
延人数	990	1,320	4,550	11,700	13,000	15,600	

* 患者数は別紙の診療圏調査報告書を基に、当事務所の開業実績を参考にして算出した。

患者数は、診療圏調査の数字をもとに、集患目標も考えなが

VII. 収入額算定表

患者単価は、低めにかつ実態に基づいた数字を考えます。

項目		初年度	2年度	3年度	4年度	5年度
外来収入	1.延人数	6,860	11,700	13,000	15,600	15,600
	2.単価(1人／日) (2年毎2%UP)	5,000	5,000	5,100	5,100	5,202
	小計(1×2) 単位:千円	34,300	58,500	66,300	79,560	81,151
その他	500	1,000	2,000	3,000	3,000	
合計	単位:千円	34,800	59,500	68,300	82,560	84,151

* 外来収入単価は、当事務所のデーターを基にして算出した。

Ⅷ. 年度別損益計算

項 目		説 明	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度
1 収 入	外来収入		34,300	58,500	66,300	79,560	81,157
	その他収入		500	1,000	2,000	3,000	3,000
	合 計		34,800	59,500	68,300	82,560	84,157
2 費 用	人件費	年2%UP	7,865	8,494	12,788	13,044	13,301
	医療原価	医療原価は、科 目、院外院内薬局 の違いで、数字が 変わります。	6,960	11,900	13,660	16,512	16,830
	地代家賃		6,434	6,434	6,434	6,627	6,627
	リース料		2,736	2,736	2,736	2,736	2,736
	支払利息		830	776	721	664	607
	減価償却費		830	776	721	664	607
	専従者給与		830	776	721	664	607
	その他費用	医療収入×10%	3,480	5,950	6,830	8,256	8,411
合 計		33,390	41,375	48,254	52,924	53,607	
3	税引前損益1-2		1,409	18,125	20,046	29,635	30,546
4	所得税・住民税		211	6,263	7,223	12,018	12,477
5	税引後利益3-4		1,198	11,863	12,823	17,618	18,070
6	減価償却費	収入の数字は少なめに、 諸費用は多めの数字に定 めます。5年間を眺め て、経営戦略を立てま しょう。	1,485	1,485	1,485	1,485	1,485
7	返済財源5+6		2,683	13,348	14,308	10,103	19,551
8	借入金返済		2,833	2,887	2,942	2,999	3,056
9	可処分所得		1,198	10,460	11,365	16,104	16,507
10	生活費		0	8,400	9,000	9,600	9,600
11	余剰・不足資金9-10	2年目にプラスを目標に がんばります。 2~3年で黒字にできる ようにこの表をもとに 経営計画を練ります。	2,060	2,060	2,365	6,504	6,907

(注) 調剤は院外とする

Ⅷ. 初年度損益計算

項目	初年度													
	5	6	7	8	9	10	11	12	合計					
1 収入	外来収入	初年度は、資金繰りに苦勞するので、各月の数字を十分に把握し検討して下さい。特に診療報酬が入るまでの間の資金繰りは、慎重に計画してください。												
	その他収入	2,200	2,200	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	34,305
	合計	1,650	1,650	1,650	2,200	2,200	2,200	3,792	3,792	3,792	3,792	3,792	4,292	34,800
2 費用	人件費	605	605	605	605	605	908	605	605	605	605	605	908	7,800
	医療原価	330	330	330	440	440	440	758	758	758	758	758	858	6,900
	地代家賃	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	536	6,400
	リース料	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	2,700
	支払利息	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	800
	減価償却費	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	1,400
	専従者給与	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	3,600
	その他費用	165	165	165	220	220	220	379	379	379	379	379	429	3,400
	合計	1,752	1,752	1,752	1,917	1,917	1,917	2,394	2,394	2,394	2,394	2,394	2,544	25,500
	3	税引前損益1-2	-707	-707	707	-322	-322	-625	792	792	792	792	792	840
4	所得税・住民税													200
5	税引後利益3-4	-707	-707	-707	-322	-322	-625	792	792	792	792	792	840	1,100
6	減価償却費	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	1,400
7	返済財源5+6	-583	-583	-583	-198	-198	-504	916	916	916	916	916	963	2,600
8	借入金返済	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	236	2,800
9	可処分所得	-819	-819	-819	434	434	-707	680	680	680	680	680	727	-100
10	生活費	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	700	8,400
11	余剰・不足資金9-10	-1,519	1,519	1,519	1,134	1,134	-1,437	-20	-20	-20	-20	-20	27	8,500

その他費用内訳: 水道光熱費 収入×1%
 旅費交通費 収入×1%
 消耗品費 収入×3%
 その他 収入×5%

*** 実際例の事業計画書を無料で差し上げます。**

ご希望の方は、FAX(03-5604-2083)又はEメール
 (medilink@tkv2.3web.ne.jp)に「**事業計画**